

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-243400

(43)Date of publication of application : 07.09.2001

(51)Int.Cl.

G06F 19/00

G06F 17/60

G07G 1/12

(21)Application number : 2000-055781

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 01.03.2000

(72)Inventor : MORI NOBUYUKI

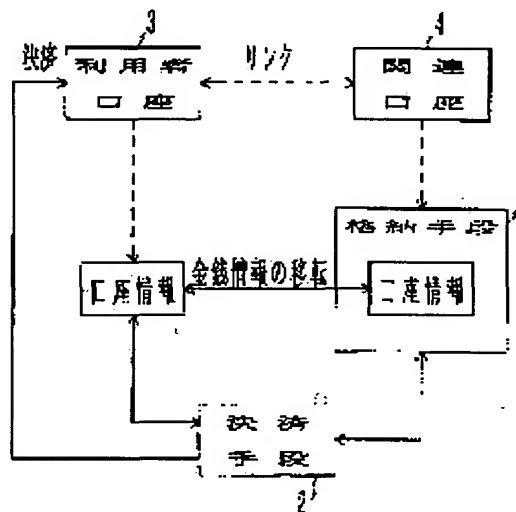
(54) ACCOUNT MANAGING SYSTEM USING RELATED ACCOUNT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To flexibly manage the move of funds concerning the user account of a financial institution.

SOLUTION: A storage means 1 stores the account information on a related account 4 linked with plural user accounts and while using the related account 4 as the contract account of a transaction, a settlement means 2 transfers money information related to the transaction from the related account 4 to one of plural user accounts. While using this account managing system, the user accounts of plural credit card non-member stores are linked to the related account 4 and when the total sales amount of these non-member stores becomes equal with or more than a fixed amount, the related account 4 can be used as an account for transaction with a credit card company. Therefore, even the credit card non-member store can receive the payment of the credit card.

本発明の原理図



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

W 106 / ES

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-243400

(P2001-243400A)

(43) 公開日 平成13年9月7日 (2001.9.7)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マ-ト* (参考)
G 0 6 F 19/00		G 0 7 G 1/12	3 2 1 L 3 E 0 4 2
17/60		G 0 6 F 15/30	3 6 0 5 B 0 4 9
G 0 7 G 1/12	3 2 1	15/21	3 4 0 A 5 B 0 5 5
			9 A 0 0 1

審査請求 未請求 請求項の数24 O L (全 20 頁)

(21) 出願番号 特願2000-55781 (P2000-55781)

(22) 出願日 平成12年3月1日 (2000.3.1)

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号

(72) 発明者 森 信行

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号 富士通株式会社内

(74) 代理人 100074099

弁理士 大菅 義之 (外1名)

最終頁に続く

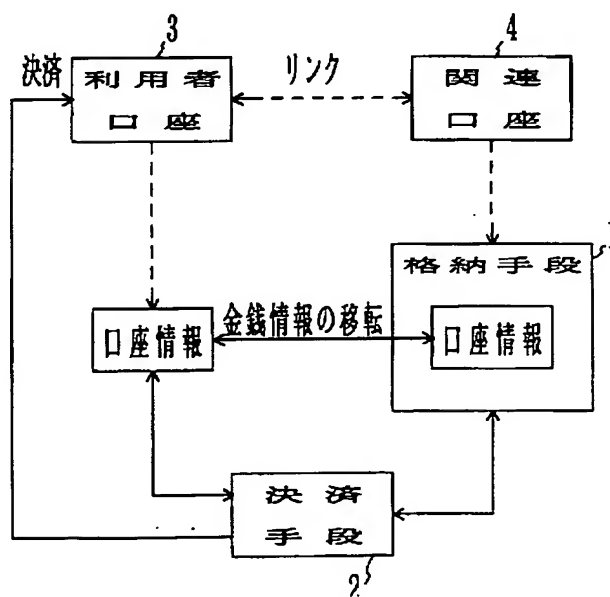
(54) 【発明の名称】 関連口座を用いた口座管理システム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 金融機関の利用者口座に関する資金の移動をフレキシブルに管理することが課題である。

【解決手段】 格納手段1は、複数の利用者口座とリンクする関連口座4の口座情報を格納し、決済手段2は、関連口座4を取引の契約口座として用いて、取引に関する金銭情報を、関連口座4から複数の利用者口座のうちの1つに移転する。この口座管理システムを用いて、複数のクレジットカード非加盟店の利用者口座を関連口座4にリンクさせ、それらの非加盟店の売上げの合計金額が一定金額以上になれば、関連口座4をクレジットカード会社との取引口座として用いることができる。したがって、クレジットカード非加盟店でもクレジットカードによる支払いを受けることができるようになる。

本 発 明 の 原 理 図



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 金銭情報を有する口座を管理する金融機関を利用して決済を行う口座管理システムであって、利用者口座とリンクする関連口座の口座情報を格納する格納手段と、

前記関連口座と利用者口座の間で金銭情報を移転して、該利用者口座に関する決済を行う決済手段とを備えることを特徴とする口座管理システム。

【請求項 2】 前記格納手段は、複数の利用者口座とリンクする前記関連口座の口座情報を格納し、前記決済手段は、該関連口座を取引の契約口座として用いて、該取引に関する金銭情報を、該関連口座から該複数の利用者口座のうちの 1 つに移転することを特徴とする請求項 1 記載の口座管理システム。

【請求項 3】 前記決済手段は、前記関連口座と利用者口座の金銭情報を統合して、該利用者口座に関する決済を行うことを特徴とする請求項 1 記載の口座管理システム。

【請求項 4】 前記決済手段は、複数の支払元から前記利用者口座に移転すべき金銭情報を前記関連口座に一時的に格納し、該関連口座の金銭情報をまとめて該利用者口座に移転することを特徴とする請求項 1 記載の口座管理システム。

【請求項 5】 金銭情報を有する口座を管理する金融機関を利用して決済を行う口座管理システムであって、複数の個別口座とリンクする共同口座の口座情報を格納する格納手段と、

前記共同口座を取引の契約口座として登録する登録手段と、

前記取引に関する金銭情報を、前記共同口座から前記複数の個別口座のうちの 1 つに移転する決済手段とを備えることを特徴とする口座管理システム。

【請求項 6】 前記取引に関して前記共同口座に対する振込があったとき、該振込の振込識別子に基づいて、前記複数の個別口座の中から振込先の個別口座を検索する検索手段をさらに備え、前記決済手段は、前記共同口座に振り込まれた金銭情報を前記振込先の個別口座に移転することを特徴とする請求項 5 記載の口座管理システム。

【請求項 7】 前記振込識別子に含まれる個別口座識別子と前記複数の個別口座との対応関係を格納する格納手段をさらに備え、前記検索手段は、前記振込識別子から前記振込先の個別口座の個別口座識別子を取り出し、取り出した個別口座識別子を用いて前記対応関係を検索して、該振込先の個別口座の口座情報を求めることを特徴とする請求項 6 記載の口座管理システム。

【請求項 8】 前記共同口座の金銭情報に基づいて、前記複数の個別口座のうち少なくとも 1 つの個別口座の売上管理を行う管理手段をさらに備えることを特徴とする請求項 5 記載の口座管理システム。

【請求項 9】 金銭情報を有する口座を管理する金融機関を利用して決済を行う口座管理システムであって、利用者の本口座とリンクするサブ口座の口座情報を格納する格納手段と、

前記サブ口座と本口座の金銭情報を統合して、該本口座に関する決済を行う決済手段とを備えることを特徴とする口座管理システム。

【請求項 10】 前記決済手段は、前記本口座の口座情報が使用できないとき、前記サブ口座の口座情報を用いて必要な決済を行うことを特徴とする請求項 9 記載の口座管理システム。

【請求項 11】 前記決済手段は、前記本口座の金銭情報の一部または全額を金銭情報移転スケジュール情報に基づいて、前記サブ口座の金銭情報に移転することを特徴とする請求項 9 記載の口座管理システム。

【請求項 12】 前記決済手段は、前記本口座の口座情報が使用できるとき、前記サブ口座の口座情報を用いた決済を抑止することを特徴とする請求項 9 記載の口座管理システム。

【請求項 13】 前記サブ口座と本口座の金銭情報を統合するための日時情報を管理する管理手段をさらに備え、前記決済手段は、該日時情報に基づいて、前記サブ口座と本口座の金銭情報を統合することを特徴とする請求項 9 記載の口座管理システム。

【請求項 14】 前記決済手段は、前記日時情報に基づいて、前記サブ口座を用いた決済に関する明細情報を前記本口座に移転することを特徴とする請求項 13 記載の口座管理システム。

【請求項 15】 金銭情報を有する口座を管理する金融機関を利用して決済を行う口座管理システムであって、利用者口座とリンクするプール口座の口座情報を格納する格納手段と、

複数の支払元から前記利用者口座に移転すべき金銭情報を、前記プール口座に一時的に格納するプール手段と、前記プール口座の金銭情報をまとめて前記利用者口座に移転する決済手段とを備えることを特徴とする口座管理システム。

【請求項 16】 前記プール口座の金銭情報を前記利用者口座に移転するための日時情報を管理する管理手段をさらに備え、前記決済手段は、該日時情報に基づいて、前記プール口座の金銭情報を前記利用者口座に移転することを特徴とする請求項 15 記載の口座管理システム。

【請求項 17】 前記管理手段は、前記日時情報を指定する手段を含み、前記決済手段は、指定された日時情報に基づいて、前記プール口座の金銭情報を、前記利用者口座に移転することを特徴とする請求項 16 記載の口座管理システム。

【請求項 18】 前記複数の支払元から前記利用者口座への入金予定を管理し、該複数の支払元から前記プール口座への入金に基づいて、該入金予定の消し込みを行う

管理手段をさらに備えることを特徴とする請求項 15 記載の口座管理システム。

【請求項 19】 金銭情報を有する口座を管理する金融機関に設けられた金融処理装置であって、複数の個別口座と共同口座をリンクさせるためのリンク情報を格納する格納手段と、前記リンク情報を用いて、前記共同口座から前記複数の個別口座のうちの 1 つの口座情報にアクセスし、該共同口座を利用した取引に関する金銭情報を、該共同口座から該複数の個別口座のうちの 1 つに移転する決済手段とを備えることを特徴とする金融処理装置。

【請求項 20】 金銭情報を有する口座を管理する金融機関に設けられた金融処理装置であって、利用者の本口座とサブ口座をリンクさせるためのリンク情報を格納する格納手段と、前記リンク情報を用いて、前記サブ口座から前記本口座の口座情報にアクセスし、該サブ口座と本口座の金銭情報を統合して、該本口座に関する決済を行う決済手段とを備えることを特徴とする金融処理装置。

【請求項 21】 金銭情報を有する口座を管理する金融機関に設けられた金融処理装置であって、利用者口座とプール口座をリンクさせるためのリンク情報を格納する格納手段と、前記リンク情報を用いて、前記プール口座から前記利用者口座の口座情報にアクセスし、複数の支払元から該利用者口座に移転するために該プール口座に一時的に格納された金銭情報を、まとめて該利用者口座に移転する決済手段とを備えることを特徴とする金融処理装置。

【請求項 22】 金融機関に設けられたコンピュータのためのプログラムを記録した記録媒体であって、前記プログラムは、複数の個別口座と共同口座をリンクさせるためのリンク情報を生成し、前記リンク情報を用いて、前記共同口座から前記複数の個別口座のうちの 1 つの口座情報にアクセスし、前記共同口座を利用した取引に関する金銭情報を、該共同口座から前記複数の個別口座のうちの 1 つに移転する処理を前記コンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 23】 金融機関に設けられたコンピュータのためのプログラムを記録した記録媒体であって、前記プログラムは、利用者の本口座とサブ口座をリンクさせるためのリンク情報を生成し、前記リンク情報を用いて、前記サブ口座から前記本口座の口座情報にアクセスし、前記サブ口座と本口座の金銭情報を統合して、前記本口座に関する決済を行う処理を前記コンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 24】 金融機関に設けられたコンピュータのためのプログラムを記録した記録媒体であって、前記プログラムは、利用者口座とプール口座をリンクさせるためのリンク情報を生成し、前記リンク情報を用いて、前記プール口座から前記利用者口座の口座情報にアクセスし、複数の支払元から前記利用者口座に移転するために前記プール口座に一時的に格納された金銭情報を、まとめて該利用者口座に移転する処理を前記コンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、金融機関等において、利用者の契約口座を介して行われる資金の移動を管理する口座管理システムに関する。

【0002】

【従来の技術とその問題点】現在、クレジットカード会社が提供しているクレジットサービスにおいては、売上げが小規模な個人商店、零細企業等は、クレジットカード加盟店になれない場合がある。このような販売者は、当然のことながら、提供する商品やサービスの代金を、購入者のクレジットカードで受け取ることはできない。したがって、クレジットカードでの支払いを希望する購入者との取引の機会を失い、販売の拡大が抑えられるという問題がある。

【0003】また、従来の銀行振込においては、振込の可能な時間帯が、振込先口座にアクセスできる時間帯（銀行の営業時間内等）に限られているため、利用者は銀行の営業時間に合わせて振込を行わなければならない。したがって、夜間や休日等に振込を行うことができないという問題がある。

【0004】ただし、米国においては、利用者からの振込等を夜間や休日でも受け付けるサービスは既に存在している。このサービスでは、利用者から依頼された取引内容は、一旦、セーブされた後、銀行業務が開始されたときに取り出され、利用者によって代わって取引が行われる。

【0005】また、従来の銀行振込による資金決済においては、利用者からの振込依頼がある度に、振込の仕向銀行が被仕向銀行の振込先口座に資金を振り込んでいく。被仕向銀行では、振込資金が到着すると、直ちにそれが振込先口座に入金される。

【0006】このような振込方法によれば、振込先口座の名義人である受取人の意向がまったく考慮されずに、多数の依頼者からの資金が時々刻々と振込先口座に入金されることになり、受取人にとって入金管理が煩わしいという問題がある。ここで、入金管理とは、誰が入金し、誰がまだ入金していないかを管理し、まだ入金していない人には、再度、入金（振込）の督促を正確に行う

ことを意味する。

【0007】本発明の課題は、クレジットカード非加盟店でもクレジットカードによる支払いを受けることができ、夜間や休日でも銀行振込ができ、振込先口座の入金管理を簡単化することができるように、資金の移動をフレキシブルに管理する口座管理システムを提供することである。

【0008】

【課題を解決するための手段】図1は、本発明の口座管理システムの原理図である。図1の口座管理システムは、格納手段1と決済手段2を備え、金銭情報を有する口座を管理する金融機関を利用して決済を行う。

【0009】格納手段1は、利用者口座3とリンクする関連口座4の口座情報を格納し、決済手段2は、関連口座4と利用者口座3の間で金銭情報を移転して、利用者口座3に関する決済を行う。

【0010】関連口座4は、利用者口座3と関連して設けられ、本来、利用者口座3に格納されるべき資金を格納する。利用者口座3に格納されるべき資金とは、例えば、利用者口座3の残高の一部や、利用者口座3宛に入金／振込された資金を意味する。関連口座4の口座情報には、例えば、口座番号等の識別情報、残高等の金銭情報、関連口座4と利用者口座3をリンクさせるためのリンク情報が含まれる。このリンク情報としては、利用者口座3の口座番号等が用いられる。

【0011】決済手段2は、格納手段1に格納された情報を用いて、関連口座4から利用者口座3の口座情報にアクセスし、関連口座4から利用者口座3に金銭情報を移転したり、利用者口座3から関連口座4に金銭情報を移転したりして、利用者口座3の入出金処理を行う。このように、利用者口座3とは別に、それとリンクする関連口座4を設けることで、利用者口座3と外部との間の資金の移動をフレキシブルに管理することが可能になる。

【0012】例えば、格納手段1は、複数の利用者口座とリンクする関連口座4の口座情報を格納し、決済手段2は、関連口座4を取引の契約口座として用いて、取引に関する金銭情報を、関連口座4から複数の利用者口座のうちの1つに移転する。

【0013】この口座管理システムを用いて、複数のクレジットカード非加盟店の利用者口座を関連口座4にリンクさせ、それらの非加盟店の売上げの合計金額が一定金額以上になれば、関連口座4をクレジットカード会社との取引口座として用いることができる。したがって、クレジットカード非加盟店でもクレジットカードによる支払いを受けることができるようになる。

【0014】また、決済手段2は、関連口座4と利用者口座3の金銭情報を統合して、利用者口座3に関する決済を行う。利用者口座3が夜間や休日に使用できない場合でも、この口座管理システムを用いて、関連口座4を

用いた決済を可能にすれば、利用者口座3に対する入金／振込等を、関連口座4に対する入金／振込等に置き換えることができる。そして、利用者口座3が使用可能になったとき、関連口座4の決済の履歴を利用者口座3の口座情報に反映すればよい。

【0015】また、決済手段2は、複数の支払元から利用者口座3に移転すべき金銭情報を関連口座4に一時的に格納し、関連口座4の金銭情報をまとめて利用者口座3に移転する。この口座管理システムを用いて、多数の振込依頼者から利用者口座3への振込資金を関連口座4にプールしておき、決められた日時にまとめて利用者口座3へ入金することができる。したがって、振込先口座の入金管理が簡単化される。

【0016】例えば、図1の格納手段1は、図9のメモリ82または外部記憶装置85に対応し、図1の決済手段2は、図9のCPU（中央処理装置）81とメモリ82に対応する。また、例えば、図1の利用者口座3は、図2の販売者13-1、13-2、...、13-nの各個別口座、図4の本口座33、または図6の振込先口座53に対応し、図1の関連口座4は、図2の共同口座12、図4のサブ口座32、または図6のプール口座52に対応する。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照しながら、本発明の実施の形態を詳細に説明する。本発明の口座管理システムは、複数の販売者の口座を1つの共同口座にリンクさせ、共同口座を代表口座（取引口座）として、クレジットカード会社との間で取引を行う。クレジットカードサービスに加盟できない零細企業等でも、2つ以上が共同で1つの共同口座を持てば、クレジットカード会社との取引金額が一定金額以上となるため、クレジットカードを扱うことができるようになる。

【0018】また、口座管理システムは、オンライン処理による口座アクセスの終了後でも、利用者からの取引要求を受け付けることができるように、アクセス対象の本口座とリンクするサブ口座を、FEP（front end processor）またはオフラインサーバ等に生成する。そして、サブ口座を介してオフライン時の取引要求を受け付け、オンライン開始時に、オフライン時に受け付けた取引の内容を本口座に反映する。これにより、本口座に関する24時間のサービス提供が可能になる。

【0019】また、口座管理システムは、被仕向銀行に、振込先口座とリンクするプール口座を生成し、プール口座に振込資金を一時的にプールしておく。そして、一定期間毎にプール口座の資金を振込先口座に入金する。これにより、振込資金の受取人は、多数の利用者からの振込をまとめて受け取ることができるようになり、入金管理の煩雑さが解消される。

【0020】次に、このような口座管理システムの構成と動作をより具体的に説明する。まず、図2に示すよう

な共同口座を用いた口座管理システムについて説明する。図2において、複数の販売者13-1, 13-2, . . . , 13-nは、クレジットサービスに加盟していない商店等に対応し、顧客である購入者14に対して、代金と引き換えに商品またはサービスを提供する。

【0021】これらの販売者13-1, 13-2, . . . , 13-nは、購入者14からクレジットカードによる支払いを受けられるようにするために、共同で利用する共同口座12を金融機関に設ける。金融機関は、共同口座12を取引口座としてクレジットカード会社11と取引契約を結ぶとともに、各販売者に対する支払いを保証する契約を結ぶ。

【0022】各販売者は、購入者14からクレジットカードによる支払いを受けたとき、共同口座12を通して間接的にクレジットカード会社に支払請求を行うことになる。このとき、各販売者は、共同口座12に対してカード利用金額の支払請求を行い、金融機関は、各販売者からの請求をまとめてクレジットカード会社11に支払請求を行う。そして、クレジットカード会社11から支払いを受けると、その回収金を共同口座12に入金して管理し、各販売者への支払いに充てる。

【0023】図3は、図2の口座管理システムの構成図である。図3の口座管理システムは、コンピュータを用いて構成され、共同口座12の口座情報21、リンク口座テーブル22、および販売者13-1, 13-2, . . . , 13-nの個別口座の口座情報23-1, 23-2, . . . , 23-nを含む。

【0024】口座情報21は、口座番号、名義人情報、リンク口座テーブル22へのポインタ24、および請求先情報を含む。口座番号は口座の識別情報であり、名義人情報は、口座名義人の氏名、住所、連絡先等の識別情報である。ここでは、例えば、共同口座12を有する金融機関が名義人となって、共同口座12の資金を管理する。また、ポインタ24は、リンク口座テーブル22が格納されている記憶領域のアドレスを指定し、請求先情報は、クレジットカード会社11-1, 11-2, . . . , 11-kの口座情報等に対応する。

【0025】リンク口座テーブル22は、共同口座12にリンクする個別口座の識別子と口座番号の対応関係を格納して、各個別口座を管理する。口座情報23-1, 23-2, . . . , 23-nは、それぞれ、口座番号、名義人情報、残高、共同口座利用情報、支払請求情報、カード売上げ管理情報を含む。ここでは、販売者13-1, 13-2, . . . , 13-nの情報が名義人情報として格納され、残高は、個別口座資金の残高を表す。

【0026】共同口座利用情報は、例えば、図4に示すような情報を含む。図4において、共同口座の口座番号は、リンクしている共同口座12の口座番号を表し、個別口座の識別子は、対応する個別口座の識別子を表す。また、支払請求中の合計額は、クレジットカード会社1

1-1, 11-2, . . . , 11-kに対して販売者が請求している金額の合計を表し、振込済の合計額は、クレジットカード会社11-1, 11-2, . . . , 11-kから振り込まれた金額の合計を表す。

【0027】また、支払請求情報は、図5に示すように、クレジットカード会社数と1番目~k番目のクレジットカード会社の管理情報からなり、各管理情報は、例えば、図6に示すような情報を含む。クレジットカード会社数は、管理されているクレジットカード会社の数を表し、ここではkに設定されている。

【0028】図6において、売上げ金額は、売上げの合計額を表し、売上げ件数は、売上げ金額に含まれる個別の売上げの数を表し、売上げ開始日は、最も古い売上げの発生した日を表し、売上げ最終日は、最も新しい売上げの発生した日を表す。

【0029】また、支払請求中の合計額は、対応するクレジットカード会社に対して販売者が請求している金額の合計を表し、履歴管理テーブル数は、後続する履歴管理テーブルのレコードの数を表す。ここでは、支払請求の履歴管理テーブル数は1に設定されている。No. 1~No. 1の各レコードは、支払請求金額、件数、支払請求日、売上げ開始日、売上げ最終日の情報を含む。

【0030】また、振込済の合計額は、対応するクレジットカード会社から振り込まれた金額の合計を表し、履歴管理テーブル数は、後続する履歴管理テーブルのレコードの数を表す。ここでは、振込済の履歴管理テーブル数は1に設定されている。No. 1~No. 1の各レコードは、振込金額、消し込み番号、振込日時の情報を含む。消し込み番号は、振込が行われた支払請求に関する消し込み管理に用いられる。

【0031】また、カード売上げ管理情報は、図7に示すように、1番目~1番目の売上げ情報からなり、各売上げ情報は、例えば、図8に示すような情報を含む。図8において、売上げ日時は、対応する売上げの発生した日時を表し、売上げ金額は、その売上げの金額を表し、売上げ商品情報は、その売上げに含まれる商品等の情報を表す。

【0032】また、クレジットカード会社情報は、使用されたカードに対応するクレジットカード会社の情報を表し、カード番号は、そのカードの番号を表す。また、所有者情報は、そのカードの所有者の氏名、電話番号等を表し、本人確認の有無は、購入者14が所有者であることが確認された否かを表し、有効期限は、そのカードの有効期限を表す。

【0033】また、支払情報は、売上げ時に設定され、売上げの際に確認された分割方法と支払時期を含む。このうち、分割方法は、売上げ金額を1回で支払うか、または数回に分けて支払うかを表し、支払時期は、通常の期日に支払うか、ボーナス時期に支払うか、またはそれらの支払方法を併用するかを表す。

【0034】また、支払累計金額は、振込受付時に設定され、この項目には、クレジット会社から振り込まれた金額が加算される。残高は、売上げ金額から支払累計金額を減算した結果を表し、1回払いの場合は、支払いが行われた時点で0となる。

【0035】また、支払日時情報は、振込受付時に設定され、最初に振り込まれた支払日と最新の支払日を含む。支払管理ステータスは、支払いの遅延状態を表し、支払いの遅延が発生したときに設定され、振込受付が正常に終了したときにクリアされる。

【0036】このような口座管理システムにおいて、まず、購入者14が販売者の商店でクレジットカードにより支払いを行うと、販売者は、金融機関が管理するクレジットサービス加盟の共同口座12へ支払請求を行う。これを受けて、口座管理システムは、口座情報21を参照し、請求先情報に記述されたクレジットカード会社に対して、支払請求を行う。このとき、各販売者毎の請求金額に、対応する個別口座の識別子を付加して、請求情報を生成し、クレジットカード会社へ送信する。

【0037】クレジットカード会社は、請求情報に含まれる各請求金額から手数料を差し引いて、その残額を支払金額として共同口座12へ振り込み、支払い（決済）を行う。このとき、各請求金額に付加された個別口座の識別子と共同口座12の口座番号とを振込識別子として、振り込みを行う。

【0038】口座管理システムは、振込識別子に含まれる個別口座の識別子をキーとしてリンク口座テーブル22を検索し、対応する個別口座の口座番号を取得する。そして、クレジットカード会社から振り込まれた金額に、資金滞留期間の利息を加え、共同口座利用料を差し引いて、対応する個別口座に入金する。

【0039】また、口座管理システムは、各個別口座の支払請求情報とカード売上げ管理情報を用いて、各販売者に代わって売上げ管理を行う。そして、それらの情報に基づいて一定期間内の売上げ高等を算出し、販売者に通知する。これにより、販売者は、共同口座12を通して売上げを計算する必要がなくなる。

【0040】以上の説明では、共同口座12を利用してクレジットカードによる支払いの決済を行う場合を想定しているが、一般に、共同口座12は、支払者から複数の支払先に資金を移転するような場合に利用可能である。この場合、口座管理システムは、クレジットカード会社の代わりに、対応する支払者に対して支払請求を行う。

【0041】次に、図9に示すようなサブ口座を用いた口座管理システムについて説明する。図9において、利用者31は、本口座33にリンクするサブ口座32を介して、本口座33に対する取引を行い、口座管理システムは、サブ口座32と本口座33の資金を統合して、本口座33に関する決済を行う。サブ口座32は、一旦生

成されると、消去されるまでの間、24時間運用される。

【0042】例えば、利用者31が本口座33に対して入金／振込を行う場合は、利用者31はサブ口座32に入金／振込を行い、サブ口座32から入金／振込明細を受け取る。その後、サブ口座32から本口座33に入金が行われる。また、利用者31が本口座33から引き出しを行う場合は、利用者31はサブ口座32に支払要求を行い、サブ口座32から支払いと支払明細を受け取る。その後、必要に応じて、本口座33からサブ口座32に対して出金が行われる。

【0043】図10は、図9の口座管理システムの構成図である。図10の口座管理システムは、コンピュータを用いて構成され、サブ口座32の口座情報41、本口座33の口座情報42を含む。

【0044】口座情報41は、口座番号、名義人情報、残高、本口座の口座番号、口座管理ステータス、およびスケジュール情報を含む。また、口座情報42は、口座番号、名義人情報、残高、サブ口座32の口座番号、口座管理ステータス、およびスケジュール情報を含む。通常、口座情報42の名義人情報が、口座情報41の名義人情報として設定され、口座情報41の残高に加算された金額は、自動的に口座情報42の残高から差し引かれる。

【0045】口座情報41、42の口座管理ステータスは、例えば、図11に示すような2値（0／1）のフラグ45-1、45-2、および45-3を含む。フラグ45-1は、対応する口座が使用可能か否かを表し、フラグ45-3は、対応する口座が本口座33かサブ口座32かを表し、フラグ45-2は、対応する口座が本口座33の場合にサブ口座32を有するか否かを表す。

【0046】フラグ45-1が使用不可能を示している状態においては、その使用不可能な口座がもう一方の口座に切り替えられて、切り替え先の口座が使用される。すなわち、本口座33が使用不可能であれば、サブ口座32に切り替えられ、サブ口座32が使用不可能であれば、本口座33に切り替えられる。

【0047】また、口座情報41のスケジュール情報は、サブ口座32の金銭情報を本口座33の金銭情報に統合する処理のスケジュールを表し、口座情報42のスケジュール情報は、本口座33の金銭情報をサブ口座32へ移転する処理のスケジュールを表す。これらのスケジュール情報には、金銭情報を移転先の口座に統合／移転する日時または周期が記述されている。

【0048】口座情報42をオンラインでアクセスすることができず、本口座33が使用不可能なとき、口座管理システムは、FEPまたはオフラインサーバ等に生成されたサブ口座32の口座情報41を用いて、ATM（automatic teller machine）やパーソナルコンピュータ等の端末機から送られる取引要求を処理し、必要な決

済を行う。また、本口座 33 が使用可能なとき、口座管理システムは、本口座 33 の口座情報 42 を用いて必要な決済を行い、サブ口座 32 を用いた決済を抑止する。

【0049】まず、既に口座情報 41 が生成されており、利用者 31 が本口座 33 に対する現金の入金を要求したとする。この場合、口座管理システムは、入金された現金に相当する金額を口座情報 41 の残高に加算して、それをサブ口座 32 に入金する。そして、利用者 31 の識別情報、取引の種類（入金）、取引金額等を含む取引明細情報 43 を生成し、それを入金明細として端末機を介して利用者 31 に発行する。

【0050】また、既に口座情報 41 が生成されており、利用者 31 が本口座 33 に対する口座振込を要求した場合、口座管理システムは、振込金額を口座情報 41 の残高に加算して、それをサブ口座 32 に先日付入金する。そして、利用者 31 の識別情報、取引の種類（振込）、取引金額、振込元となる利用者 31 の口座の口座番号等を含む取引明細情報 43 を生成し、それを振込明細として端末機を介して利用者 31 に発行する。その後、本口座 33 が使用可能になったとき、取引明細情報 43 に基づいて、利用者 31 の口座から振込金額を出金する。

【0051】サブ口座 32 に先日付入金する代わりに、口座情報 41 とともに取引明細情報 43 を保存しておく方法もある。この場合、本口座 33 が使用可能になったとき、口座管理システムは、取引明細情報 43 に基づいて利用者 31 の口座から振込金額を出金し、それを口座情報 42 の残高に加算して、本口座 33 に入金する。

【0052】口座情報 41 が生成されていなければ、口座管理システムは、口座情報 41 を一時的に生成して、同様の入金／振込処理を行う。そして、本口座 33 が使用可能になり、サブ口座 32 の資金を本口座 33 へ移転した後、口座情報 41 を消去する。

【0053】また、既に口座情報 41 が生成されており、利用者 31 が本口座 33 からの現金の引き出し（支払い）を要求した場合、口座管理システムは、引き出し金額を口座情報 41 の残高から差し引いて、サブ口座 32 から出金する。そして、利用者 31 の識別情報、取引の種類（引き出し）、取引金額等を含む取引明細情報 43 を生成し、それを支払明細として端末機を介して利用者 31 に発行する。口座情報 41 の残高が不足するときは、口座情報 41 に設定されている本口座 33 の残高のうち、利用者 31 の与信度の範囲内で貸し越しを行う。

【0054】本口座 33 が使用可能になったとき、口座管理システムは、上述の入金／振込処理に伴って、サブ口座 32 から本口座 33 への資金の移転を行う。まず、サブ口座 32 が一時的に生成されたものであれば、口座情報 41 の残高と取引明細情報 43 を本口座 33 へ移転し、その金額を口座情報 42 の残高に加算する。そして、資金の移転が正常に終了すると、口座情報 41 を消

去し、本口座 33 の名義人である受取人 44 に入金通知を発行する。受取人 44 は、利用者 31 自身である場合と、そうでない場合とがある。

【0055】また、サブ口座 32 がその後も継続運用される場合は、口座管理システムは、口座情報 41 のスケジュール情報に基づいて、サブ口座 32 の資金と取引明細情報 43 を本口座 33 に移転する。受取人 44 は、このスケジュール情報を指定することができ、例えば、本口座 42 への入金日時を指定したり、一定期間（時間単位、日単位、週単位、月単位等）毎の定期的な入金を指定したりする。

【0056】また、口座管理システムは、本口座 33 が使用可能なとき、利用者 31 からの入金／振込／引き出し要求に応じて、本口座 33 の入出金処理を行う。出金の際、本口座 33 の残高が不足すれば、継続運用されているサブ口座 32 の資金を自動振り替えする。サブ口座 32 が継続運用されていなければ、本口座 33 の残高を上限として出金を行う。

【0057】次に、図 12 に示すようなプール口座を用いた口座管理システム（消し込み管理システム）について説明する。図 12 において、複数の支払人 51-1, 51-2, . . . , 51-n が仕向銀行から被仕向銀行の振込先口座 53 に対する振込（送金）を行うとき、振込資金は、振込先口座 53 とリンクするプール口座 52 に、一旦プールされる。このとき、振込完了の結果通知が支払人 51-1, 51-2, . . . , 51-n に発行される。そして、あらかじめ決められた期限になると、プール口座 52 の金銭情報が振込先口座 53 に移転し、その名義人である受取人 54 に入金通知が発行される。

【0058】例えば、受取人 54 が商品またはサービスの販売者であり、支払人 51-1, 51-2, . . . , 51-n が購入者である場合、各支払人は受取人 54 から指定された期限内に代金を振り込まなければならない。この場合、振り込まれた代金は、一旦プール口座 52 に入金され、販売者の入金指定日までプールされる。そして、入金指定日になると、前回の指定日から今回の指定日までの間に振り込まれた資金がまとめて、販売者の指定口座 53 に振替入金される。

【0059】このとき、不特定多数の購入者からの資金が指定日に一括して指定口座に入金され、売掛金の消し込み管理が口座管理システムにより自動的に代行処理される。このため、販売者の負担が軽減され、各購入者から個別に入金される場合に比べて、資金管理が簡単明瞭かつ効率的になる。

【0060】図 13 は、図 12 の口座管理システムの構成図である。図 13 の口座管理システムは、コンピュータを用いて構成され、用途 $u1, \dots, ui$ の振込明細情報群 $61-1, \dots, 61-i$ 、プール口座 52 の口座情報 63、振込管理テーブル $66-1, \dots, 66-i$ 、および振込先口座 53 の口座情報 67 を含

む。

【0061】用途u1の振込明細情報群61-1は、制御部62-0と振込明細情報62-1, 62-2, . . . , 62-kからなり、支払人51-1, 51-2, . . . , 51-kからの振込依頼を管理する。制御部62-0は、振込明細情報の数、消し込み済の振込明細情報の数、未消し込みの振込明細情報の数、消し込みペンディングの振込明細情報の数等の情報を含む。消し込みペンディングとは、振込明細情報と振込管理テーブルの情報が一致しないために、確認処理を必要とする場合を表す。

【0062】また、振込明細情報62-1, 62-2, . . . , 62-kは、支払人51-1, 51-2, . . . , 51-kから振込先口座53への振込依頼が行われたときに生成され、振込人（支払人）の情報（氏名、住所、電話番号等）、振込金額、振込先口座53の口座番号、用途（購入商品／サービスの情報）、振込日時、振込モード（口座振込、現金振込、小切手振込等）、資金移動モード（振込先口座53への資金移動が済んでいるか否か）、消し込みモード（消し込み済、未消し込み、または消し込みペンディング）等の情報を含む。

【0063】ここでは、用途u1について、支払人51-1は、個別口座60-1を振込元として口座振込を依頼しており、支払人51-2は、現金振込を依頼しており、支払人51-kは、個別口座60-kを振込元として口座振込を依頼している。

【0064】また、用途u1についても、同様の振込明細情報群61-iが生成される。ここでは、支払人51-kは、個別口座60-kを振込元として口座振込を依頼しており、支払人51-1は、個別口座60-1を振込元として口座振込を依頼しており、支払人51-nは、現金振込を依頼している。このように、各支払人は、複数の異なる用途についての振込依頼を行うことができる。

【0065】口座情報63は、口座番号、名義人情報、残高、振込先口座53の口座番号、振込明細情報へのポインタ64、振込管理テーブル66へのポインタ65、およびスケジュール情報を含む。ポインタ64は、振込明細情報群61-1, . . . , 61-iが格納されている記憶領域のアドレスを指定し、ポインタ65は、振込管理テーブル66-1, . . . , 66-iが格納されている記憶領域のアドレスを指定している。

【0066】また、スケジュール情報は、プール口座52から振込先口座53への資金移動スケジュールを表し、振り込まれた資金をまとめて移動する時期を指定する日付管理情報を含む。例えば、毎月10日、毎月20日、毎月末のように指定されている場合は、指定日の前日までに振り込まれた資金が、指定日に利息とともにまとめられ、口座情報67の残高に加算される。このよう

に、資金移動は、金銭情報を移転する処理に対応する。

【0067】振込管理テーブル66-1, . . . , 66-iは、売上げ情報に基づいた振込予定金額、振込人の情報、振込期限（年月日）、振込用途（売上げの商品／サービスの情報）等の情報を含み、用途毎に振込先口座53への振込予定を管理する。

【0068】口座情報67は、口座番号、名義人情報、残高、およびプール口座52の口座番号を含む。通常、口座情報67の名義人情報が、口座情報63の名義人情報として設定され、口座情報63の残高から差し引かれた金額は、自動的に口座情報67の残高に加算される。

【0069】支払人からの振込依頼が発生すると、口座管理システムは、用途毎に振込明細情報群61-1, . . . , 61-iを生成し、口座情報63にポインタ64を設定して、振込金額を口座情報63の残高に加算する。ポインタ64としては、例えば、振込明細情報群61-1, . . . , 61-iのアドレスが用いられる。

【0070】次に、口座管理システムは、ポインタ65を用いて振込管理テーブル66-1, . . . , 66-iを参照し、振込予定の消し込み処理を行う。このとき、各振込明細情報の振込金額を、振込管理テーブル66-1, . . . , 66-i内の対応する振込予定金額と比較し、それらが一致すれば、消し込み済の情報を振込明細情報に書き込む。また、振込明細情報に対応する振込予定がない場合は、その振込明細情報に消し込みペンディングの情報を書き込む。

【0071】次に、口座情報63のスケジュール情報を参照して、現在の日付けが資金移動を行う指定日に対応するか否かを判定する。現在の日付けが指定日に対応すれば、口座情報63の残高を0に設定し、その金額にプール期間の利息を加算し、プール口座利用料を差し引く。そして、得られた金額を口座情報67の残高に加算して、振込先口座53へ資金を移動する。

【0072】このとき、振込明細情報群61-1, . . . , 61-iに記録されている振込人毎の消し込みモードを表す消し込み結果68-1, . . . , 68-iを生成し、それらを入金通知として受取人54に発行する。

【0073】受取人54は、資金移動のスケジュール情報を指定することができ、例えば、振込先口座53への入金日時を指定したり、一定期間毎の定期的な入金を指定したりする。また、受取人54は、消し込み結果68-1, . . . , 68-iの報告日時または周期を、スケジュール情報とは別に指定することもできる。

【0074】次に、図14に示すようなプール口座を用いた口座管理システム（資金移動管理システム）について説明する。図14において、複数の支払人71-1, 71-2, . . . , 71-nが仕向銀行から被仕向銀行の振込先口座73-1, . . . , 73-jに対する振込

(送金)を行うとき、振込資金は、これらの振込先口座とリンクするプール口座72に、一旦プールされる。このとき、振込完了の結果通知が支払人71-1, 71-2, . . . , 71-nに発行される。

【0075】そして、あらかじめ決められた期限になると、プール口座72の金銭情報が振込先口座73-1, . . . , 73-jに移転し、それらの名義人である受取人74-1, . . . , 74-jに入金通知が発行される。

【0076】図15は、図14の口座管理システムの構成図である。図15の口座管理システムは、コンピュータを用いて構成され、振込先口座73-1, . . . , 73-jに対応する振込明細情報群81-1, . . . , 81-j、プール口座72の口座情報83、資金移動明細書86-1, . . . , 86-j、および振込先口座73-1, . . . , 73-jの口座情報87-1, . . . , 87-jを含む。

【0077】振込先口座73-1用の振込明細情報群81-1は、制御部82-0と振込明細情報82-1, 82-2, . . . , 82-kからなり、支払人71-1, 71-2, . . . , 71-kからの振込依頼を管理する。制御部82-0は、振込明細情報の数等の情報を含む。

【0078】また、振込明細情報82-1, 82-2, . . . , 82-kは、支払人71-1, 71-2, . . . , 71-kから振込先口座73-1への振込依頼が行われたときに生成され、振込人(支払人)の情報(氏名、住所、電話番号等)、振込金額、振込先口座73-1の口座番号、振込理由、振込日時、振込モード(口座振込、現金振込、小切手振込等)等の情報を含む。

【0079】ここでは、振込先口座73-1に対して、支払人71-1は、個別口座80-1を振込元として口座振込を依頼しており、支払人71-2は、現金振込を依頼しており、支払人71-kは、個別口座80-kを振込元として口座振込を依頼している。

【0080】また、振込先口座73-jに対しても、同様の振込明細情報群81-jが生成される。ここでは、支払人71-kは、個別口座80-kを振込元として口座振込を依頼しており、支払人71-1は、個別口座80-1を振込元として口座振込を依頼しており、支払人71-nは、小切手振込を依頼している。このように、各支払人は、複数の異なる振込先口座に対して振込依頼を行うことができる。

【0081】口座情報83は、口座番号、名義人情報、振込先口座管理情報、および振込明細管理情報を含む。振込先口座管理情報は、振込先口座73-1, . . . , 73-jの管理情報からなり、各管理情報は、振込先口座の口座番号、残高、資金移動のスケジュール情報、移動済残高、移動日時等の情報を含む。また、振込明細管

理情報は、振込明細情報群81-1, . . . , 81-jへのポインタ84-1, . . . , 84-jからなる。

【0082】資金移動明細書86-1, . . . , 86-jは、振込金額、振込人の情報、振込日時、振込理由等の情報を含み、プール口座72から振込先口座73-1, . . . , 73-jへの資金移動の結果を振込先口座毎に管理する。口座情報87-1, . . . , 87-jは、口座番号、名義人情報、残高、およびプール口座72の口座番号を含む。

【0083】支払人からの振込依頼が発生すると、口座管理システムは、振込先口座毎に振込明細情報群81-1, . . . , 81-jを生成し、口座情報83にポインタ84-1, . . . , 84-jを設定して、振込金額を口座情報83の残高に加算する。

【0084】また、口座管理システムは、口座情報83のスケジュール情報に基づいて、プール口座72から振込先口座73-1, . . . , 73-jへ資金を移動する。そして、資金移動明細書86-1, . . . , 86-jを生成し、それらを入金通知として受取人74-1, . . . , 74-jに発行する。

【0085】ところで、以上説明した実施形態の口座管理システムは、銀行等の金融機関に設けられた金融処理装置、ATM、金融機関利用者のパーソナルコンピュータ、電話等の装置を組み合わせる構成される。取引の当事者全員が1つの金融機関内に口座を持っている場合は、口座管理システムの主要な処理を1つの金融処理装置が統合することが可能である。

【0086】図16は、このように場合に処理を統合して行う金融処理装置を含む口座管理システムの構成図である。図16において、金融処理装置91は、上述した共同口座12、サブ口座32、本口座33、プール口座52、72、および振込先口座53、73-1~73-jの情報と、個別口座15の情報を口座管理データベース92に格納し、それらに関する処理を行う。ここで、個別口座15の情報は、図3の口座情報23-1, 23-2, . . . , 23-nに対応する。

【0087】また、金融処理装置91は、他の金融機関の金融処理装置93、テラズマシン94、ATM95、パーソナルコンピュータ96、および電話機97と通信して、処理に必要な情報を交換する。

【0088】テラズマシン94は、金融機関の専任の担当者が業務上必要なすべての取引を行うための装置である。担当者は、テラズマシン94を用いて、金額無制限の入出金、解約、純新規の口座開設(金融機関にまったく初めての口座を開設すること)、小切手・手形の取引、紛失届けの受理、通帳・カードの再発行等の処理を行うことができる。これに対して、ATM95は、不特定多数の人が、通常の入出金、新規の口座開設、照会等の限定された取引を行うために用いられる。

【0089】金融処理装置91は、図3に示したよう

に、口座情報21、リンク口座テーブル22、および口座情報23-1, 23-2, . . . , 23-nを管理し、クレジットカード会社11-1, 11-2, . . . , 11-kからの振込資金を、共同口座12を介して複数の販売者に振り分ける処理を行う。また、売上げ管理を自動的に行い、各販売者に報告する。

【0090】また、金融処理装置91は、図10に示したように、口座情報41、42と取引明細情報43を管理し、外部の装置93、94、95、96、97から入力される取引要求に応じて、サブ口座32に対する入金／振込処理またはサブ口座32からの出金処理を行う。また、サブ口座32から本口座33への資金移動の期日管理を自動的に行う。

【0091】また、金融処理装置91は、図13に示したように、口座情報63、67、振込明細情報群61-1, . . . , 61-i、および振込管理テーブル66-1, . . . , 66-iを管理し、外部の装置93、94、95、96、97から入力される振込依頼に応じて、プール口座52に対する振込処理を行う。また、プール口座52から振込先口座53への資金移動の期日管理と、振込予定の消し込み管理を自動的に行い、受取人に報告する。

【0092】また、金融処理装置91は、図15に示したように、口座情報83、87-1, . . . , 87-j、振込明細情報群81-1, . . . , 81-j、および資金移動明細書86-1, . . . , 86-jを管理し、外部の装置93、94、95、96、97から入力される振込依頼に応じて、プール口座72に対する振込処理を行う。また、プール口座72から振込先口座73-1, . . . , 73-jへの資金移動の期日管理を自動的に行い、受取人に報告する。

【0093】さらに、受取人は、ATM95、パーソナルコンピュータ96、および電話機97を用いて、資金移動のスケジュール情報を入力することができる。また、取引の当事者全員が1つの金融機関内に口座を持っていなければ、異なる金融機関の複数の金融処理装置が処理を分担することになる。また、同じ金融機関内であっても、支店が異なる場合は、複数の金融処理装置が処理を分担することもあり得る。

【0094】図17は、このよう場合に処理を分担して行う2つの金融処理装置を含む口座管理システムの構成図である。図16において、金融処理装置101は、上述した共同口座12、サブ口座32、プール口座52、72の情報を口座管理データベース102に格納し、それらに関する処理を行う。また、金融処理装置101は、他の金融機関の金融処理装置93、テラズマシン94、ATM95、パーソナルコンピュータ96、電話機97、および金融処理装置103と通信して、処理に必要な情報を交換する。

【0095】金融処理装置103は、上述した個別口座

15、本口座33、および振込先口座53、73-1〜73-jの情報を口座管理データベース104に格納し、それらに関する処理を行う。

【0096】金融処理装置101は、図3の口座情報21とリンク口座テーブル22を管理し、クレジットカード会社11からの振込資金を、共同口座12を介して複数の販売者に振り分ける処理を行う。そして、各販売者の個別口座を管理する金融処理装置103に金銭情報を送信する。また、売上げ管理を自動的に行い、各販売者に報告する。

【0097】また、金融処理装置101は、図10の口座情報41と取引明細情報43を管理し、外部の装置93、94、95、96、97から入力される取引要求に応じて、サブ口座32に対する入金／振込処理またはサブ口座32からの出金処理を行う。そして、本口座33を管理する金融処理装置103との間で金銭情報を送受信する。また、サブ口座32から本口座33への資金移動の期日管理を自動的に行う。

【0098】また、金融処理装置101は、図13の口座情報63、振込明細情報群61-1, . . . , 61-i、および振込管理テーブル66-1, . . . , 66-iを管理し、外部の装置93、94、95、96、97から入力される振込依頼に応じて、プール口座52に対する振込処理を行う。そして、振込先口座53を管理する金融処理装置103に金銭情報を送信する。また、プール口座52から振込先口座53への資金移動の期日管理と、振込予定の消し込み管理を自動的に行い、受取人に報告する。

【0099】また、金融処理装置101は、図15の口座情報83、振込明細情報群81-1, . . . , 81-j、および資金移動明細書86-1, . . . , 86-jを管理し、外部の装置93、94、95、96、97から入力される振込依頼に応じて、プール口座72に対する振込処理を行う。そして、振込先口座73-1, . . . , 73-jを管理する金融処理装置103に金銭情報を送信する。また、プール口座72から振込先口座73-1, . . . , 73-jへの資金移動の期日管理を自動的に行い、受取人に報告する。

【0100】次に、図18から図23までを参照しながら、上述した様々な関連口座を有する口座管理システムの処理について説明する。図18は、口座情報格納処理のフローチャートである。口座管理システムは、まず、実行すべき処理が共同口座の処理か否かを判定する（ステップS1）。それが共同口座の処理であれば、共同口座の口座情報を格納し（ステップS2）、共同口座へのリンク情報（口座番号等）を個別口座の口座情報に格納して（ステップS3）、処理を終了する。

【0101】ステップS1において、実行すべき処理が共同口座の処理でなければ、次に、それがサブ口座の処理か否かを判定する（ステップS4）。それがサブ口座

の処理であれば、サブ口座の口座情報を格納し（ステップS5）、サブ口座へのリンク情報を本口座の口座情報に格納して（ステップS6）、処理を終了する。

【0102】ステップS4において、実行すべき処理がサブ口座の処理でなければ、次に、それがプール口座の処理か否かを判定する（ステップS7）。それがプール口座の処理であれば、プール口座の口座情報を格納し（ステップS8）、プール口座へのリンク情報を振込先口座の口座情報に格納して（ステップS9）、処理を終了する。

【0103】ステップS7において、実行すべき処理がプール口座の処理でなければ、それは口座情報格納処理ではないと判断し、そのまま処理を終了する。図19、20、および21は、振込受付処理のフローチャートである。振込要求が入力されると、口座管理システムは、まず、振込先がプール口座にリンクした振込先口座か否かを判定する（図19のステップS11）。

【0104】振込先がそのような口座であれば、次に、それが消し込み利用者の口座であるか否かを判定する（ステップS12）。それが消し込み利用者の口座であれば、対応するプール口座の残高を更新し（ステップS13）、振込の用途に合わせて、対応する振込明細情報群に振込明細情報を格納する（ステップS14）。

【0105】次に、消し込み処理が可能か否かを判定する（ステップS15）。消し込み可能であれば、振込管理テーブルに基づいて振込明細情報の消し込みを行い、振込管理テーブルと振込明細情報群を更新する（ステップS16）。そして、処理結果を出力して（ステップS17）、処理を終了する。ステップS15において、消し込み可能でなければ、そのまま処理を終了する。

【0106】ステップS12において、振込先が消し込み利用者の口座でなければ、口座番号に基づいて振込先口座の残高を更新し（ステップS18）、その口座の振込明細情報を格納する（ステップS19）。

【0107】次に、資金移動処理が可能か否かを判定する（ステップS20）。資金移動可能であれば、プール口座から振込先口座へ金銭情報を移転し、それらの口座の残高を更新する（ステップS21）。そして、処理結果を出力して（ステップS17）、処理を終了する。ステップS20において、資金移動可能でなければ、そのまま処理を終了する。

【0108】ステップS11において、振込先がプール口座にリンクした振込先口座でなければ、次に、それが共同口座か否かを判定する（図20のステップS22）。振込先が共同口座であれば、振込の識別子に基づいてリンク口座テーブルをサーチし（ステップS23）、対応する個別口座が存在するか否かを判定する（ステップS24）。

【0109】その個別口座が存在すれば、リンク口座テーブルから対応する口座番号を取得し、その口座の口座

情報にアクセスする。そして、支払請求情報をサーチし、対応するクレジットカード会社の管理情報を取得して（ステップS25）、それが正常か否かを判定する（ステップS26）。

【0110】クレジットカード会社の管理情報が正常であれば、それを更新し（ステップS27）、個別口座の共同口座利用情報を更新し（ステップS28）、個別口座のカード売上げ管理情報の対応する売上げ情報を更新する（ステップS29）。そして、個別口座の残高を更新して（ステップS30）、処理を終了する。

【0111】ステップS24において対応する個別口座が存在しない場合、および、ステップS26においてクレジットカード会社の管理情報が正常でない場合は、エラー処理を行って（ステップS31）、処理を終了する。

【0112】ステップS22において、振込先が共同口座でなければ、次に、それが本口座か否かを判定する（図21のステップS32）。振込先が本口座であれば、次に、それがサブ口座とリンクしているか否かを判定し（ステップS33）、サブ口座とリンクしていれば、次に、口座管理ステータスを参照して、本口座が使用可能か否かを判定する（ステップS34）。

【0113】本口座が使用可能であれば、本口座の振込明細情報を格納し（ステップS35）、本口座の残高を更新して（ステップS36）、処理を終了する。ステップS33において、振込先がサブ口座とリンクしていなければ、ステップS35以降の処理を行う。

【0114】ステップS34において、本口座が使用可能でなければ、対応するサブ口座の口座情報をアクセスし（ステップS37）、口座管理ステータスを参照して、サブ口座が使用可能か否かを判定する（ステップS38）。

【0115】サブ口座が使用可能であれば、サブ口座の振込明細情報（取引明細情報）を格納し（ステップS39）、サブ口座の残高を更新して（ステップS40）、処理を終了する。サブ口座が使用可能でなければ、エラー処理を行って（ステップS41）、処理を終了する。ステップS32において、振込先が本口座でなければ、それがサブ口座であるものとみなして、ステップS38以降の処理を行う。

【0116】図22および23は、資金移動処理のフローチャートである。口座管理システムは、まず、管理している1つの口座の口座情報をアクセスし、資金移動のスケジュール情報があるか否かを判定する（図22のステップS51）。

【0117】スケジュール情報があれば、現在の日時をスケジュール情報に含まれる資金移動日時と比較して、資金を移動する時期か否かを判定する（ステップS52）。資金移動の時期であれば、次に、移動対象の金銭情報（資金移動情報）があるか否かを判定する（ステッ

プ S 5 3)。

【0118】そのような金銭情報があれば、口座内の資金移動情報を検索して1つの情報を取得し(ステップ S 5 4)、次に、その口座がサブ口座か否かを判定する(図 2 3 のステップ S 5 6)。それがサブ口座でなければ、その口座を利用者の口座(振込先口座)とみなして、口座の残高に移動対象の金額を加算し(ステップ S 5 7)、その口座とリンクしているプール口座の残高からその金額を減算する(ステップ S 5 8)。

【0119】次に、口座内の次の資金移動情報を検索し(ステップ S 5 9)、資金移動明細情報(資金移動明細書)を作成し(ステップ S 6 0)、未処理の資金移動情報があるか否かを判定する(ステップ S 6 1)。そして、未処理の資金移動情報が残っていれば、ステップ S 5 6 以降の処理を繰り返す。

【0120】ステップ S 6 1において、口座内のすべての資金移動情報の処理が終了すれば、資金移動明細情報を出力し(ステップ S 6 2)、次の口座情報を検索して(ステップ S 6 3)、未処理の口座情報があるか否かを判定する(ステップ S 6 4)。未処理の口座情報が残っていれば、図 2 2 のステップ S 5 1 以降の処理を繰り返し、すべての口座情報の処理が終了すれば、処理を終了する。

【0121】図 2 2 のステップ S 5 1 において、スケジュール情報がなければ、図 2 3 のステップ S 6 3 以降の処理を行う。また、図 2 2 のステップ S 5 2 において資金を移動する時期でない場合、および、ステップ S 5 3 において資金移動情報がない場合は、その旨のメッセージを出力して(ステップ S 5 5)、図 2 3 のステップ S 6 2 以降の処理を行う。

【0122】また、図 2 3 のステップ S 5 6 において、口座がサブ口座であれば、サブ口座の金銭情報を対応する本口座へ移転し(ステップ S 6 5)、資金移動明細情報を作成して(ステップ S 6 6)、ステップ S 6 2 以降の処理を行う。

【0123】ところで、図 1 6 および 1 7 の金融処理装置 9 1、9 3、1 0 1、1 0 3、テラズマシン 9 4、ATM 9 5、パーソナルコンピュータ 9 6 は、例えば、図 2 4 に示すような情報処理装置(コンピュータ)を用いて構成される。図 2 4 の情報処理装置は、CPU 1 1 1、メモリ 1 1 2、入力装置 1 1 3、出力装置 1 1 4、外部記憶装置 1 1 5、媒体駆動装置 1 1 6、およびネットワーク接続装置 1 1 7 を備え、それらはバス 1 1 8 により互いに接続されている。

【0124】メモリ 1 1 2 は、ROM (read only memory)、RAM (random access memory) 等を含み、処理に用いられるプログラムとデータを格納する。CPU 1 1 1 は、メモリ 1 1 2 を利用してプログラムを実行することにより、上述したような口座管理システムの各処理を行う。

【0125】入力装置 1 1 3 は、例えば、キーボード、ポインティングデバイス、タッチパネル等であり、必要な指示や情報の入力に用いられる。出力装置 1 1 4 は、例えば、ディスプレイ、プリンタ、スピーカ等であり、処理結果や利用者への問い合わせ事項を出力する。

【0126】外部記憶装置 1 1 5 は、例えば、磁気ディスク装置、光ディスク装置、光磁気ディスク (magneto-optical disk) 装置等である。情報処理装置は、この外部記憶装置 1 1 5 に、上述のプログラムとデータを保存しておき、必要に応じて、それらをメモリ 1 1 2 にロードして使用する。また、外部記憶装置 1 1 5 は、上述した各口座情報を格納するデータベースとしても用いられる。

【0127】媒体駆動装置 1 1 6 は、可搬記録媒体 1 1 9 を駆動し、その記録内容にアクセスする。可搬記録媒体 1 1 9 としては、メモ리카ード、フロッピーディスク、CD-ROM (compact disk read only memory)、光ディスク、光磁気ディスク等、任意のコンピュータ読み取り可能な記録媒体が用いられる。オペレータは、この可搬記録媒体 1 1 9 に上述のプログラムとデータを格納しておき、必要に応じて、それらをメモリ 1 1 2 にロードして使用する。

【0128】ネットワーク接続装置 1 1 7 は、LAN (local area network) 等の任意のネットワーク(回線)を介して外部の装置と通信する。情報処理装置は、必要に応じて、ネットワーク接続装置 1 1 7 を介して上述のプログラムとデータを外部の装置から受け取り、それらをメモリ 1 1 2 にロードして使用する。

【0129】図 2 5 は、図 2 4 の情報処理装置にプログラムとデータを供給することのできるコンピュータ読み取り可能な記録媒体を示している。可搬記録媒体 1 1 9 や外部のデータベース 1 2 0 に保存されたプログラムとデータは、メモリ 1 1 2 にロードされる。そして、CPU 1 1 1 は、そのデータを用いてそのプログラムを実行し、必要な処理を行う。

【0130】

【発明の効果】本発明によれば、利用者の契約口座とリンクする関連口座を設けることにより、資金の移動をフレキシブルに管理することが可能になる。例えば、クレジットサービスの加盟店でない販売者でも、クレジットカードによる支払いに対処することができる。また、関連口座を 24 時間運用することにより、ホームバンキング、ファームバンキング等のサービスを 24 時間提供することができる。さらに、不特定多数の支払者からの振込を効率的に管理することができ、売掛金の消し込み管理が簡単化される。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の口座管理システムの原理図である。

【図 2】第 1 の口座管理システムの説明図である。

【図 3】第 1 の口座管理システムの構成図である。

【図4】共同口座利用情報を示す図である。
 【図5】支払請求情報を示す図である。
 【図6】クレジットカード会社の管理情報を示す図である。
 【図7】カード売上げ管理情報を示す図である。
 【図8】売上げ情報を示す図である。
 【図9】第2の口座管理システムの説明図である。
 【図10】第2の口座管理システムの構成図である。
 【図11】口座管理ステータスを示す図である。
 【図12】第3の口座管理システムの説明図である。
 【図13】第3の口座管理システムの構成図である。
 【図14】第4の口座管理システムの構成図である。
 【図15】第4の口座管理システムの構成図である。
 【図16】第5の口座管理システムの構成図である。
 【図17】第6の口座管理システムの構成図である。
 【図18】口座情報格納処理のフローチャートである。
 【図19】振込受付処理のフローチャート（その1）である。
 【図20】振込受付処理のフローチャート（その2）である。
 【図21】振込受付処理のフローチャート（その3）である。
 【図22】資金移動処理のフローチャート（その1）である。
 【図23】資金移動処理のフローチャート（その2）である。
 【図24】情報処理装置の構成図である。
 【図25】記録媒体を示す図である。

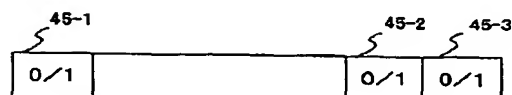
【符号の説明】

1 格納手段
 2 決済手段
 3 利用者口座
 4 関連口座
 11、11-1、11-2、11-k クレジットカード会社
 12 共同口座
 13-1、13-2、13-n 販売者
 14 購入者
 21、23-1、23-2、23-n、41、42、63、67、83、87-1、87-j 口座情報

22 リンク口座テーブル
 24、64、65、84-1、84-j ポインタ
 31 利用者
 32 サブ口座
 33 本口座
 43 取引明細情報
 44、54、74-1、74-j 受取人
 45-1、45-2、45-3 フラグ
 51-1、51-2、51-k、51-l、51-n、71-1、71-2、71-k、71-l、71-n 支払人
 52、72 プール口座
 53、73-1、73-j 振込先口座
 60-1、60-k、60-l、80-1、80-k、80-l 個別口座
 61-1、61-i、81-1、81-j 振込明細情報群
 62-0、82-0 制御部
 62-1、62-2、62-k、82-1、82-2、82-k 振込明細情報
 66-1、66-i 振込管理テーブル
 68-1、68-i 消し込み結果
 86-1、86-j 資金移動明細書
 91、93、101、103 金融処理装置
 92、102、104 口座管理データベース
 94 テラーズマシン
 95 ATM
 96 パーソナルコンピュータ
 97 電話機
 111 CPU
 112 メモリ
 113 入力装置
 114 出力装置
 115 外部記憶装置
 116 媒体駆動装置
 117 ネットワーク接続装置
 118 バス
 119 可搬記録媒体
 120 データベース

【図11】

口座管理ステータスを示す図

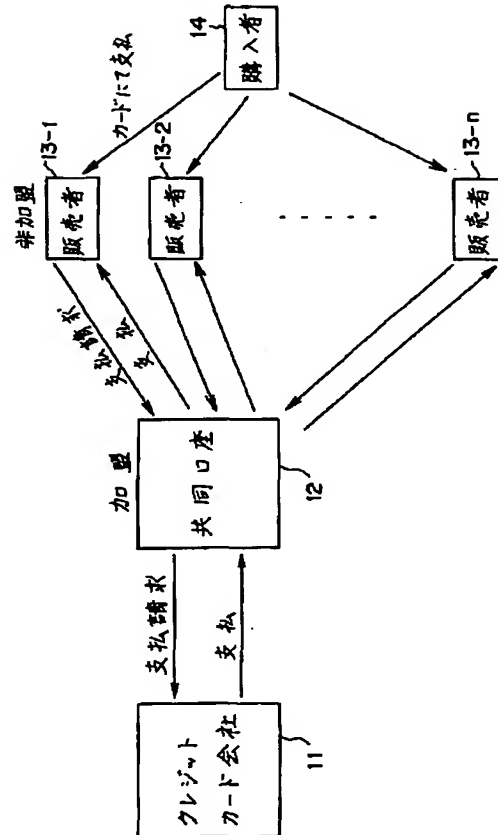
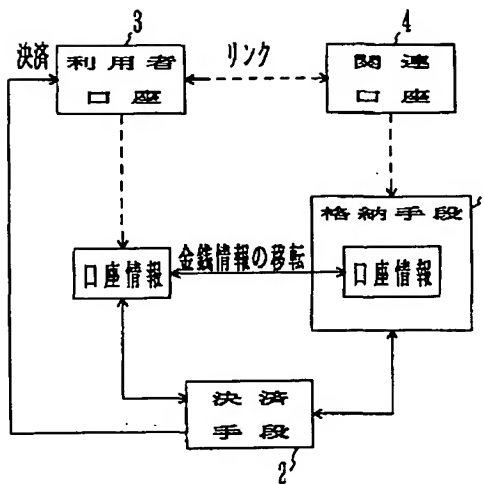


【図1】

【図2】

本発明の原理図

第1の口座管理システムの説明図



【図4】

共同口座利用情報を示す図

共同口座の口座番号
個別口座の識別子
支払請求中の合計額
振込済の合計額

【図5】

【図6】

支払請求情報を示す図

クレジットカード会社の管理情報を示す図

クレジットカード会社数(k)
1番目のクレジットカード会社の管理情報
2番目のクレジットカード会社の管理情報
...
k番目のクレジットカード会社の管理情報

履歴管理テーブル

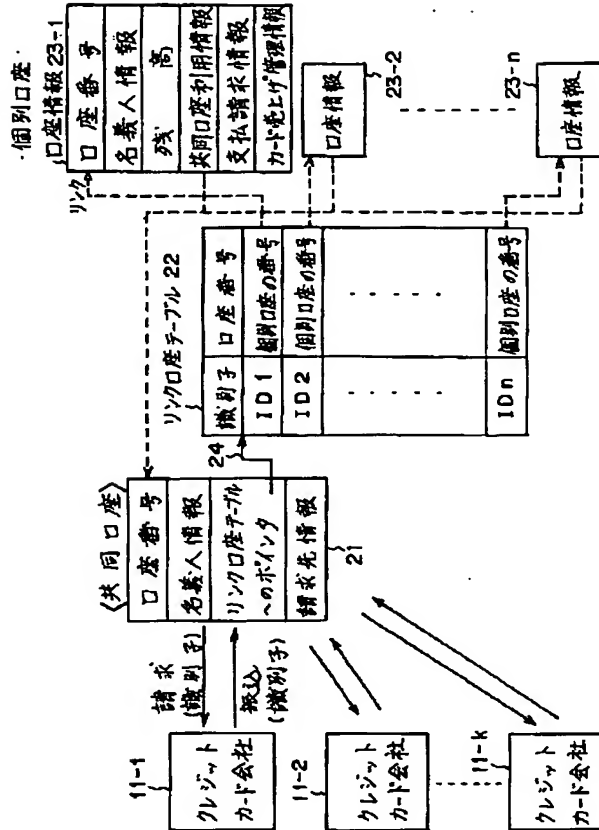
売上げ金額		売上げ開始日			
売上げ件数		売上げ最終日			
支払請求中の合計額					
履歴管理テーブル数(Q)					
No.1	支払 請求金額	件数	支払 請求日	売上げ開始日	
				売上げ最終日	
⋮					
No.Q	支払 請求金額	件数	支払 請求日	売上げ開始日	
				売上げ最終日	

履歴管理テーブル

振込済の合計額			
履歴管理テーブル数(Q)			
No.1	振込金額	消し込み番号	振込日時
⋮			
No.Q	振込金額	消し込み番号	振込日時

【図3】

第1の口座管理システムの構成図



【図8】

売上げ情報を示す図

売上げ日時		売上げ金額	
売上げ商品情報		クレジットカード会社情報	
カード番号		所有者情報	
本人確認の有無		有効期限	
支払情報	支払累計金額	残高	
支払日情報		支払管理ステータス	

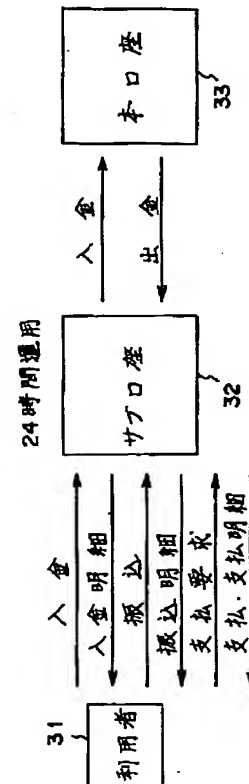
【図7】

カード売上げ管理情報を示す図

1番目の売上げ情報
2番目の売上げ情報
...
Q番目の売上げ情報

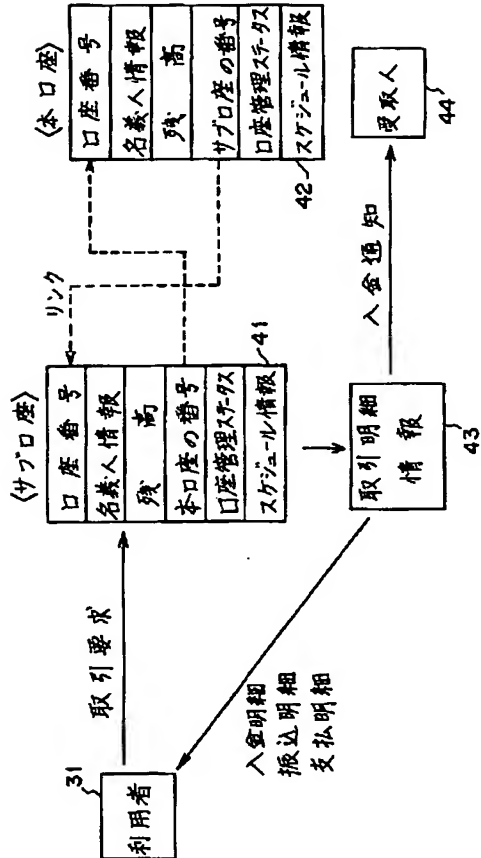
【図9】

第2の口座管理システムの説明図



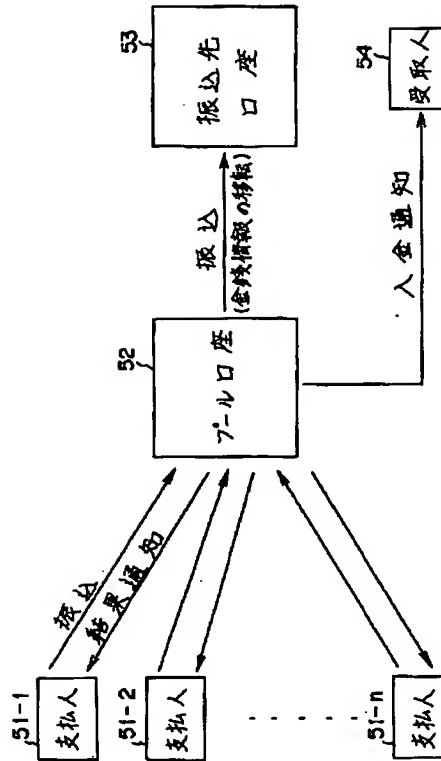
【図10】

第2の口座管理システムの構成図



【図12】

第3の口座管理システムの説明図

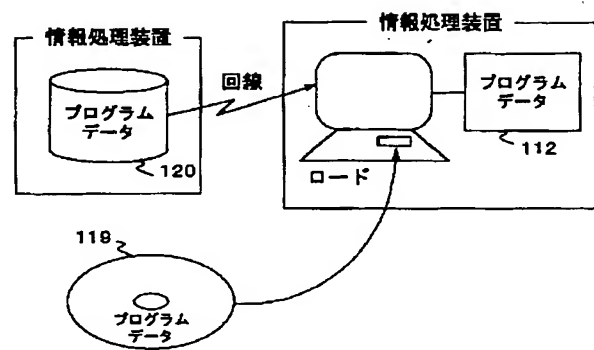
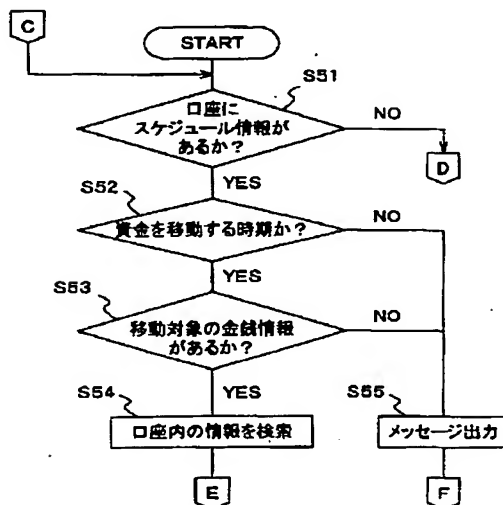


【図25】

【図22】

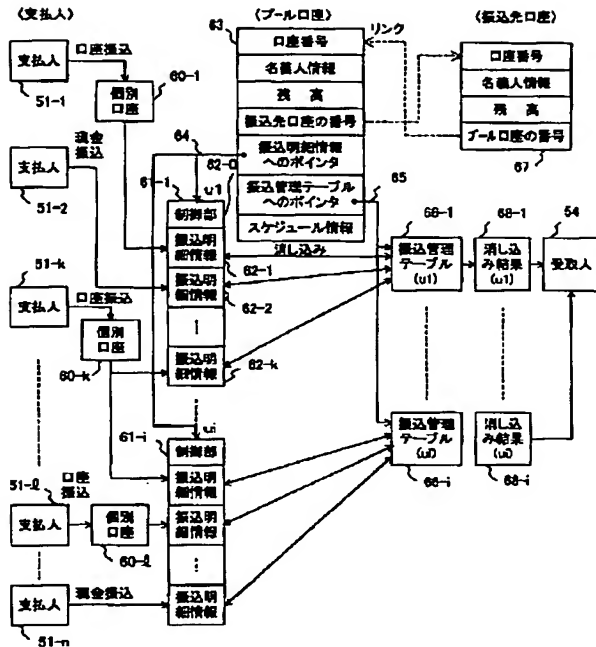
記録媒体を示す図

資金移動処理のフローチャート(その1)



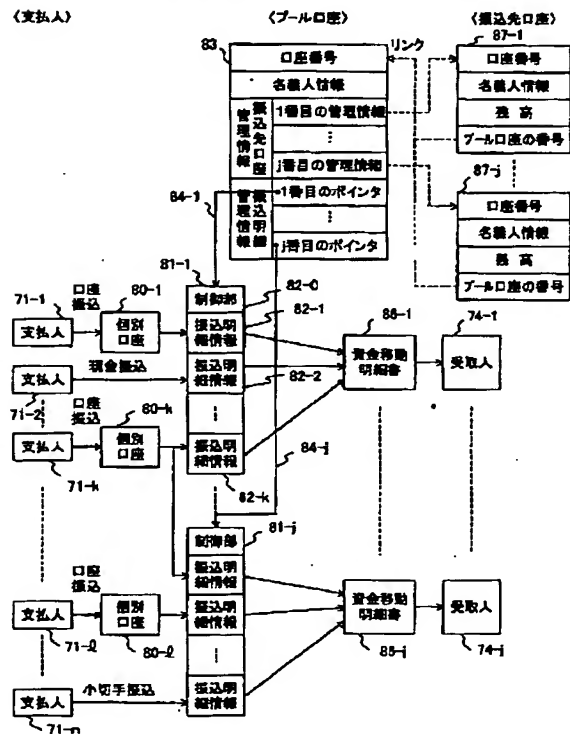
【図13】

第3の口座管理システムの構成図



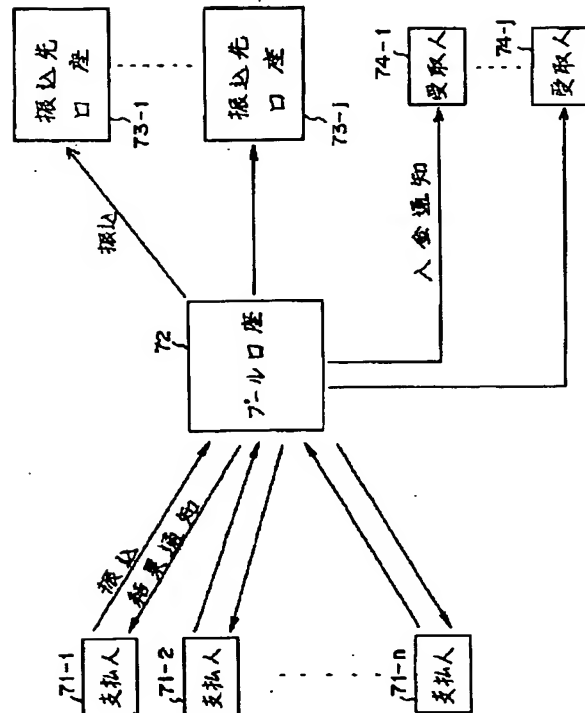
【図15】

第4の口座管理システムの構成図



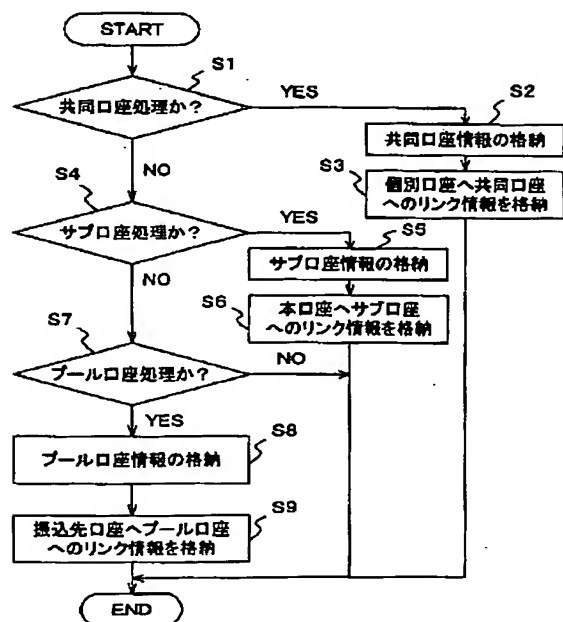
【図14】

第4の口座管理システムの説明図



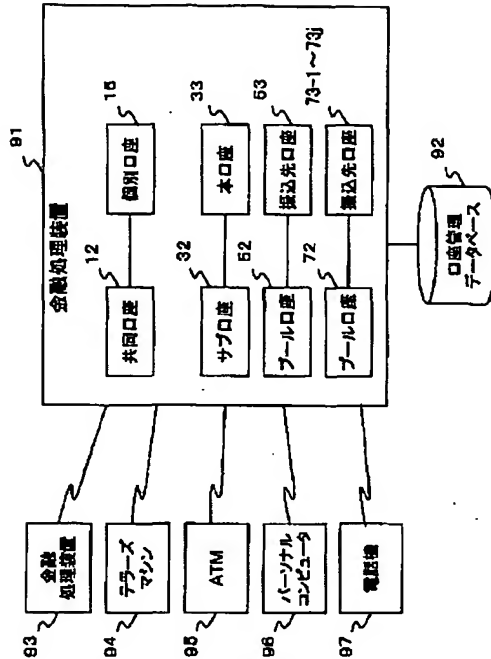
【図18】

口座情報格納処理のフローチャート



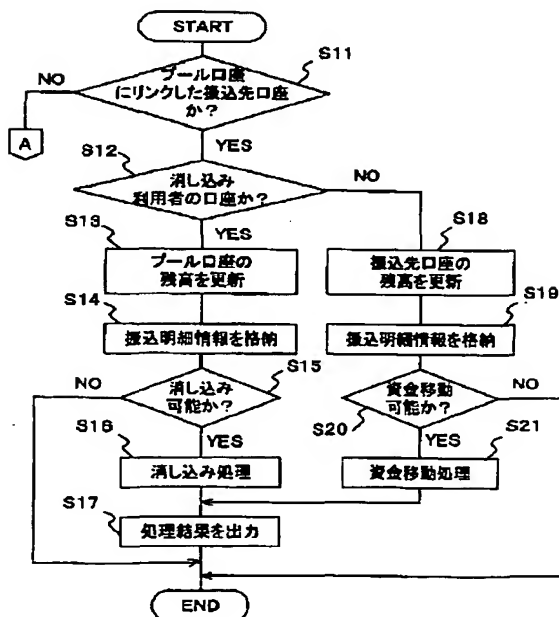
【図16】

第5の口座管理システムの構成図



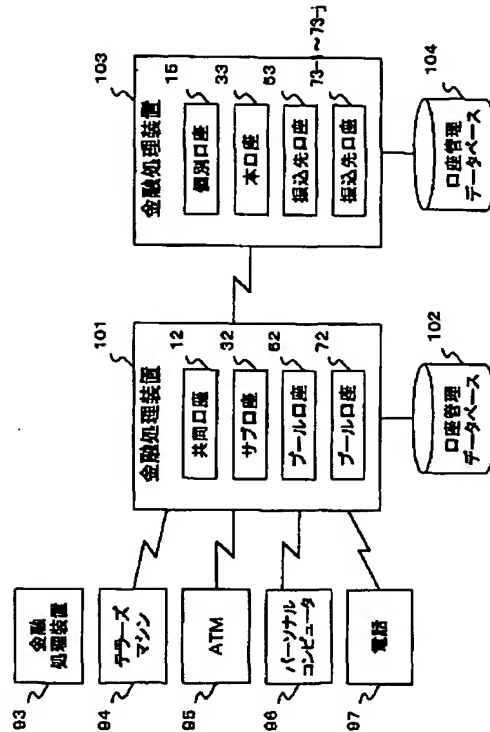
【図19】

振込受付処理のフローチャート(その1)



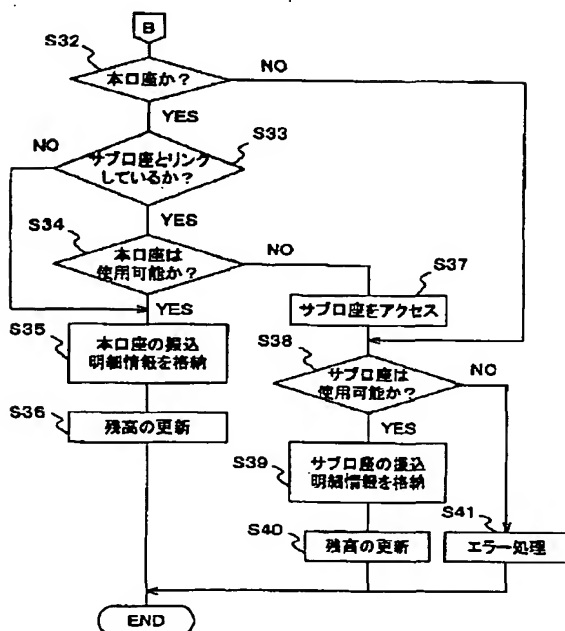
【図17】

第6の口座管理システムの構成図



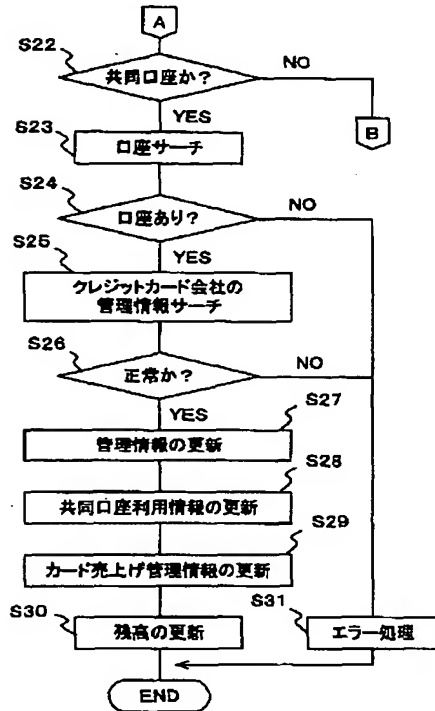
【図21】

振込受付処理のフローチャート(その3)



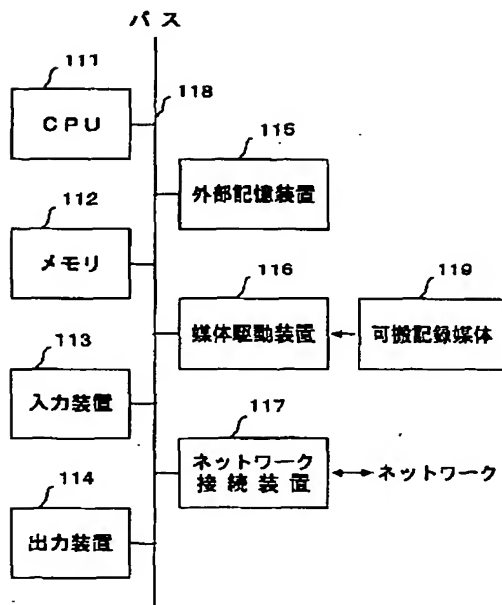
【図20】

振込受付処理のフローチャート(その2)



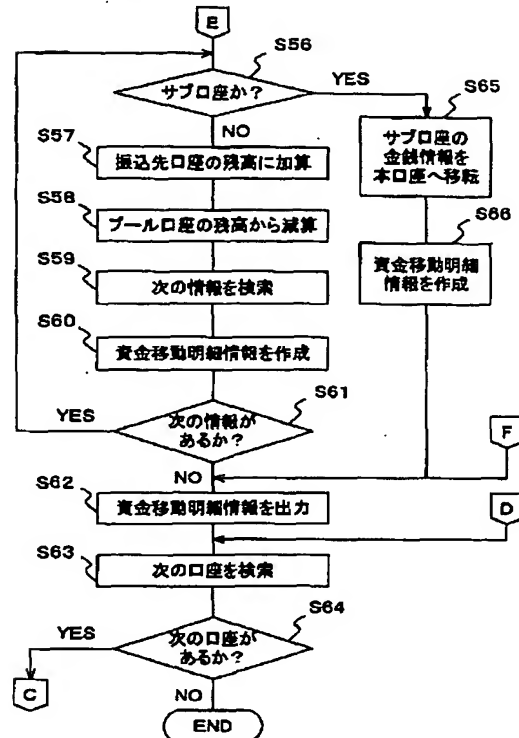
【図24】

情報処理装置の構成図



【図23】

資金移動処理のフローチャート(その2)



フロントページの続き

F ターム(参考) 3E042 CC01 CC03 EA01 EA07 EA08
5B049 AA01 AA02 BB11 BB46 CC39
EE21 FF09 GG04 GG07
5B055 BB16 CB03 CB09 EE02 EE05
EE27 FA00 FA01 FA05 FA06
FA07 KK00
9A001 JJ65 JJ66